

1. 本園の教育目標

心豊かにたくましく生きる力を育む ——— 遊ぼう 学ぼう みんな笑顔の幼稚園 ——— ○生き生きとした明るい元気な子ども ○やさしく豊かな心をもつ子ども ○よく考えて、最後までやりぬく子ども ○すすんであいさつができる子ども
---

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

○基本的生活習慣の確立 ・体操・リトミックなどの運動遊びを通して健康でたくましいからだづくりに取り組む。 ・挨拶の大切さや様々な生活習慣、ルールやマナーを育てる。（毎月の目標や保護者と出来る体操を掲示板を活用して伝える。） ○園児が、伸び伸びと自己発揮しながら遊べるための環境づくりや教師の保育力を高める。 ・子どもたちが楽しみながら主体的に展開できる環境構成の見直しをする。 ・幼児一人ひとりの特性や内面を理解するために、GOYO研修で職員間で話し合う。 ・幼稚園終了までに育てたい力（10の姿）を意識して日々の保育を振り返る。 ○園児一人一人の自己肯定感を高め、友達と一緒に安心していろいろな活動に挑戦する子どもを育てる。 ・園と家庭が連携して園児のキラっとするポイントをみつけることで、園児の自信になるように努める。 ・ニコニコタイムを設け、絵本やカードを活用したり、実際にあった事柄をみんなで考え相手の思いを考える機会をもつ。 ○保育の可視化 ・ホームページ、ドキュメンテーション、掲示板を積極的に活用し、保育の可視化を図る。 ・園の取組を写真や表示を活用しながら、取組のプロセスをわかりやすく示す。
--

3. 評価項目・評価・取組と達成状況

評価項目	評価	取組と達成状況
(1)基本的生活習慣の確立	B	・姿勢を保つ基礎となる「体幹」を鍛えるために、継続して「キラキラタイム」リトミックに取り組んでいる。年間計画を作成し、どの力をつけていきたいのかを明白にしてきた。足形を写して土踏まずの変化にも着目することも継続して行い成果を感じている。またコロナも緩和されたことをうけて「げんきっきタイム」で体操やゲーム遊びをして異年齢交流を多くとれるように計画してきた。 ・毎月、生活習慣で目標にすることを掲示板に貼り、保護者も共に意識できるようにしてきた。また、挨拶は、日々の立哨時に丁寧に取り組み、進んで挨拶できるようになってきている。
(2)園児が、伸び伸びと自己発揮しながら遊べる環境づくりや教師の保育力を高める	B	・「幼児期に育てたい10の姿」は、日々の計画で育てたい力が意識できるように、指導案に添付し常に振り返るように工夫してきた。また、廊下など目につくところで掲示し、職員はもちろんであるが、保護者にも啓発してきた。園だよりも、月の目標や園が取り組んでいることを載せ、共有できるように工夫してきた。「どのような力を身につけさせたいか」ということを意識しながら、一人一人の幼児をしっかり受け止め、魅力ある教育内容が展開できるよう、今後も家庭と園とが協力して取組を進めていきたい。 ・幼児の自己肯定感を高め、のびのびと自己発揮できるようにどうしたらいいのかを話し合い、幼児を肯定的に見取ろうと職員の見取り方を研修してきた。また、「にこにこタイム」という時間を設け、実際に体験していなくてもカードや絵本を使って相手の気持ちを考えたり、みんなで話し合い自分の思いを伝えようという機会を毎日行ってきた。少人数のため、経験できないこともあるが、この活動を通して、考える機会をもつことができた。この活動は、園の特色として、今後も丁寧に行っていきたい。
(3)保育の可視化の工夫をする	B	・コロナ禍が緩和されたが、引き続き保護者地域の方により具体的に発信するために園での様子を写真等で知らせるドキュメンテーションを

	<p>作成し、掲示板への掲示、市ホームページへ掲載してきた。より保護者が興味をもって見てもらえるよう、ミマモルメを活用しホームページ更新を知らせてきた。また、毎日の園での活動の様子を掲示板で保護者に知らせてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園の取組を保護者により知ってもらうために、行事のプロセスを写真も使って掲示してきた。出来栄だけでなく園の思いや取組を表示することで、より子どもたちの頑張りが保護者に届いたように思う。</li> <li>・保護者の方が安心して園に通わせることができるように、保護者の願いや思いを受け止め、共に考えていくことができる園の雰囲気づくりに努め必要に応じて懇談を重ねてきた。</li> </ul>
--	--

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度も「一人一人が輝く保育を目指して」～遊びを通して主体性を育むための援助の在り方について～というテーマのもと研修を重ねてきた。活動においても、この活動でどこを育てたいのかを考え、プロセスを大切に行ってきた。このことは、保護者とも共有で掲示板を活用するなど工夫してきた。</li> <li>・園児一人一人の自己肯定感を高めることに重点をおいて今年度は計画を立てて取り組んできた。まず教師の見取り方について研修を重ね、その後、園児と「こんな時にどうしたらいいのか」と考える機会をもってきた。こうすることで、相手の思いを受け止めたり、自己を発揮したりして周り認められ、自己肯定感を高めることができた。更に自信をもって生活できる姿につながったと思う。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止のため課題であった異年齢交流においては、毎週計画して行うことができた。また保育所とも交流を再開することができ、年長児同士の交流を3回行うことができた。地域との交流では、「羊の毛刈り」「芋ほり」など地域の方と連絡をもちながら交流できた。また、次年度へつなげていきたいと思う。</li> </ul>
--

#### 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組方法
豊かな学び（遊びの充実）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画を見直し、2年間で育てたい姿を明確に発達年齢に合わせて、どんな力をつけたいのかをしっかりと話し合い実践に移していく。園児が「やってみよう」と思える保育環境づくりに取り組む。</li> </ul>
保育所・小学校・地域との交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も園内の活動をホームページで知らせていく。</li> <li>・積極的に保・小・地域に働きかけ、交流できるように努める。</li> <li>・幼稚園教育で伝えたいことをしっかりと小学校へ知らせる工夫をする。参観・作品展などを見に行ったり、教師自身が子どものことについて小学校職員と話ができる機会を設ける。</li> </ul>
教育の質の向上と教員の指導力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度取り組んできた幼児の見取り方について更に研修を重ね継続していく。研修したいことアドバイスをほしいことを出し合い、GOYO研修の時間を使って研修していく</li> <li>・見通しをもった計画をたてて保育ができるようにすすめ、教材研究や環境改善の時間を確保できるようにしていく。</li> </ul>

#### 6. 学校関係者評価委員会からの意見と今後の改善について

<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内では先生方が優しいまなざしで園児に接してくれています。人に優しい子が育ちます。</li> <li>・園庭の草抜きもこまめにしてくれ、園内の環境もとてもいいです。</li> <li>・今年度は、特に幼稚園の雰囲気良さ、明るさを強く感じます。このことが、子どもの園生活をイキイキとさせていることだと思います。</li> <li>・普段から子ども達の気持ち、興味をしっかりとつかみ遊びへと発展させてこられてるので、最後の発表会では個性豊かに堂々と役になりきり立派に成長した姿を見せてもらえました。</li> <li>・生活発表会では、2学年の発表の様子を見ることができてそれぞれの発達がわかりました。また場の構成も見やすく小道具も工夫されていて、園児が友達と一緒に自信をもって活動していたと思います。</li> <li>・お迎えの時に先生が、今日の良かったことを話してくれ、一人一人に向き合う時間をたくさんとってもらえたことが嬉しかったです。</li> <li>・園児数は少なくなりましたが、一人一人を手厚く見てもらえる環境は、とてもよかったです。園児数が以前のように戻ればと思いますが、戻ったとしてもこのまま良いところは継続してもらいたいです。</li> <li>・これから子どもの「つぶやき」を大切に保育をしてくださることを願います。</li> </ul> <p>※評価委員の方々からいただいたご意見を大切に受け止め、より幼稚園の教育力を高め、地域に発信していくことができるように努めたい。</p>
--

